朝霧草原環境保全フォーラム

「茅場」の多面的機能や生物多様性に関心高め

根原区　昨年の調査結果を報告

富士宮市根原区（吉川清人区長）による「朝霧草原環境保全フォーラム」が16日、同市根原の富士教育訓練センターで開かれた。富士山の銘水㈱（山梨県富士吉田市）の助成を受けて昨年5月から12月の間に実施した「朝霧高原の地形・地質」と「朝霧草原のチョウ」の調査結果が報告され、県内や東京、神奈川、埼玉、山梨など各都道府県から訪れた約40人が朝霧高原北部地域に広がる"朝霧草原"（茅場）の多面的機能と生物多様性に関心を高めた。

根原区財産区が所有し維持管理を行う茅場は、構成員の高齢化が進み今後の維持が難しくなっており、国道139号線東側では人手不足から10年間火入れが行われない時期があった。その後、富士山の景観維持を目的に2007年から現在まで市がボランティアを募りながら火入れを実施している。また、12年3月には文化庁の「ふるさと文化財の森」に茅場152㌶が設定され、近年では富士山の景観維持や水源涵養（かんよう）、自然との触れ合い、癒やしの場など多面的機能や生物多様性の維持などで評価が高まっている。

フォーラムは、狩場の維持管理に対する意識が共有されにくい状況を踏まえ、茅場の多面的機能と生物多様性についての調査研究を進め、茅場のあり方を考えていくため、毎年実施している。今回は18年度富士の銘水㈱助成事業として行われ、根原・麓・富士丘・猪之頭4区の関係者らで組織する朝霧高原活性化委員会、根原区財産区、東京農業大学、NPO法人あさぎり古里創生ネット、市立井之頭中学校、富士教育訓練センター、NPO法人富士山麓観光まちづくり研究所、富士かやぶき建築茅吉、富士宮市が協力した。

朝霧高原の地形・地質への調査結果を報告する北垣さん

開会に先立ちあいさつした同委員会委員長を務める吉川区長は、朝霧草原の歴史などに触れながら、「今回のフォーラムを朝霧草原について知るきっかけとしてほしい」などとあいさつ。

引き続き、県立富士宮東高等学校の山本玄珠教諭と共に朝霧高原の地形・地質について調査した奇石博物館の北垣俊明さんが「根原周辺には青木ケ原溶岩流と根原溶岩流、朝霧溶岩流Ⅰ、猪之頭溶岩流Ⅱの4種類の富士山溶岩流が確認されている」などと話しながら、実際に調査した茅場内の林道沿いや道の駅朝霧高原の西側に延びる林道沿い、茅場エリア内の作業路沿い、山梨県境沿いの谷部など根原周辺の地質について写真を交えて紹介したほか、静岡昆虫同好会の清邦彦さんも朝霧草原のチョウの調査結果を報告した。

19年度会員に認証状交付

富士宮高校会議所

4月からの活動に意欲高め

富士宮高校会議所による定期総会「2019年度会員認証式」が16日、同市西町の西町レトロ館で開かれた。新会頭の伊東竜輝さん（富岳館2年）と新副会頭の興津茉莉花さん（星陵2年）をはじめとする会員20人が須藤秀忠市長から認証状の交付を受け、4月からの本格的な活動スタートに向け決意を新たにした。

須藤市長から認証状を受け取る新副会頭の興津さん

同会議所は富士宮市内5校の高校生が連携し、高校生の視点で地域振興や地方創生、地域ビジネスの手法について実践を通して学んでいる。

同日は会員たちが須藤市長から認証状を受け取り、伊東新会頭が「高校生のアイデアで富士宮市を活性化させたい」、興津副会頭が「これまでの経験を生かし、さらなる発展を目指す」と意気込みを述べた。

須藤市長は「積極的に新しいことに挑戦し、高校生の無限の可能性で富士宮市を盛り上げてほしい。新しい体制に期待している」と激励した。

意気込みを述べる新会頭の伊東さん

引き続き、18年度の活動報告を行い、同会議所アドバイザーの故渡邉英彦さんの遺族が寄付金を贈呈。交流会も開き、開発している新商品を試食しながら親睦を深めた。

中小企業など対象に技術者研修

県紙パルプ技術協会　22日まで　製紙工学など学ぶ

一般社団法人静岡県紙パルプ技術協会（大久保賢治会長）は22日まで、富士市の静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターで、中小企業者や従業員を対象に、製紙工学課程などを学ぶ「2018年度中小企業等技術者研修（製紙工学課程・短期）」を開いている。定員30人のところ県内外の製紙、薬品会社などから定員を超える37人が参加し学んでいる。

同研修会は、入社後経過期間が短く経験の少ない社員や事務担当者や異動などで配置転換された社員、営業面など全ての社員を対象に、製紙技術全般にわたる基礎的な知識を習得する初級研修。同センターが富士市・富士宮市と産業界の協力の下、5日間にわたって実施している。

初日の18日は、同協会編集委員の大城富司さんが製紙概論、相川鉄工㈱技術営業部課長の浦田治朗さんが紙料調整機械について講義した。製紙概論では、紙とは何か、木の種類、繊維の構造、パルプ化、繊維の調整などがスライドを使って示された。受講生は、テキストに印を付けるなどして真剣に講義を聴いていた。最終日までに抄紙概論、紙塗工、抄紙用具、家庭紙の概要、古紙処理法、用紙と印刷など12科目について講義が行われる。

製紙概論を学ぶ受講者

○…県家庭紙工業ー（シティア）は強組合は、県富士工業度があり肌触りもよ技術センターの協力く、また水に溶けやを得て、すく、外世界20カ国製品に国のトイ比べ「優レットペ等生」ーパー品質比較を実あることが分かっ施。その結果、日本た。のトイレットペーパ

23日に茶道体験

富士宮市教委　申し込みを受付

富士宮市教育委員会は富士山の日（2月23日）に合わせたイベントとして、「茶道体験」を同日午後1時から同3時まで、市民文化会館2階和室で開く。申し込みは22日までで、先着20人。

裏千家の矢野悦子さんからお辞儀の仕方や歩き方、茶の飲み方、菓子の頂き方などを学ぶ。小・中学生とその保護者が対象。参加費500円。

問い合わせ、申し込みは矢野さん（電054―23―6379）へ。

◇

訂正　17日付4面の記事中、参加費に誤りがありました。正しくは500円です。

傷害で会社員逮捕

富士署は16日、傷害の疑いで富士市天間、会社員中野晶容疑者（47）を逮捕した。

調べによると、中野容疑者は15日午後10時頃、同市今泉地先の路上で、同市在住の会社員の男性（53）に足蹴りや顔面を殴るなどの暴行を加え、けがを負わせた疑い。

プレハブ小屋焼く

17日午後2時42分頃、富士市一色の2階建てプレハブ小屋の1階から出火。約20平方㍍を焼失し、同3時5分に鎮火した。他への延焼はなく、負傷者もいなかった。

富士署などで火災の原因を調べている。